

令和3年度 佐久市総合計画審議会第1部会（第4回） 会議録

日時：令和3年10月29日（金）

午後2時00分～

場所：中込会館 2階会議室1

【出席者】井出部会長、柴平副部会長、堀内委員、桃井委員、石山委員、竹内委員、小畑委員

以上7名

【事務局】若林企画課長、木下企画調整係長、金澤主任、小林主任、大井主事

○協議事項等

次第

1 開会

- ・部会長挨拶
- ・欠席委員報告（加藤委員、伊坂委員、木内委員）

2 議事

（1）第2期佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び第二次佐久市総合計画前期基本計画の進行管理について（部会報告、答申（案））

質疑、意見

事務局	第2期佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び第二次佐久市総合計画前期基本計画の進行管理（部会報告、答申（案））について説明 —質疑、意見等なし—
-----	--

（2）第二次佐久市総合計画後期基本計画の骨子案について

質疑、意見

事務局	第二次佐久市総合計画後期基本計画の骨子案「幼児教育」について説明
-----	----------------------------------

委員	審議会のあり方について再検討して頂きたい。それから国では子ども庁、他市町村でも子ども課や子ども部がある。組織機構も時代によって変わってきているので、単年度では無理だと思うが、佐久市でもライフステージに沿って一貫して運営できるよう組織立てしてほしい。具体的には、児童館は福祉部の管轄で学校は教育委員会の管轄である。教育委員会で一括して運営するなど色々と考えていってほしい。
事務局	短期的には役所の横の連携をしっかりとやっていきたい。中期的に見た組織のあり方についてもご意見を参考にしていきたい。
委員	幼児教育に私立幼稚園の整備の記載があるが、P76 に中込地区の新保育所の記載がある。もう少しまとめて具体的に記載したほうがいい。(幼保一元化、認定こども園など)
事務局	施策的に別になっているので、この様な記載の仕方になっている。第三次の見直しまでにはしっかり検討したい。
委員	厚生労働省と文部科学省からそれぞれおりてきたものを佐久市は1つにして幼児教育として一貫した体制を構築してほしい。
事務局	中期的なスパンで修正していきたい。
委員	私は臼田から来ているが、公立の田口保育園が長期計画では閉園の予定。今後の見通しはあるのか。
事務局	P77 (2) 4 つ目に記載の通り、エリアによって公立の保育園が多い所もあれば、臼田地区のように私立の保育園が多い所もある。私立の保育園が幼児教育を担えるのであれば、行政側は一定の支援をしながら私立の保育園に委ねるのも方法の一つだと考えている。子育て支援課がスケジュールも含めて調整しており、各地域へ話を聞く機会もあると思うので、よろしくお願ひしたい。
	第二次佐久市総合計画後期基本計画の骨子案《学校教育》について説明

委員	<p>コロナ禍の子ども達への影響は大変だと思っている。体と心の両面でしっかりと配慮して頂きたい。図書館の司書の先生の配置を安定的にしてほしい。公立図書館の読書通帳との連携も含めて読書全体について検討してほしい。学校給食について、民間活力の導入と記載されているが、自校給食をやっている市町村も多い中で、導入についてはかなり慎重に進めていってほしい。</p>
事務局	<p>各担当課でしっかり検討したい。</p>
委員	<p>ICT 機器を活用するのはよいがすぐ更新時期が来てしまう。5 年位経つと有効活用もできなくなる。いかに維持していくかという事をやっていく事で導入した効果が出てくるのではないか。管理するのはすごく大変で素人にできる設定ではない。業者を利用するなど先生方に負担がかからずに教育に専念できるようにしてほしい。</p>
事務局	<p>ご意見の通り。先生方が能動的に教育に利用できるような指導を行っていく予定。継続的にご意見、アドバイスを頂戴したい。</p>
委員	<p>地域住民や保護者から声が上がって区長の立場で色々な要望をしているが、市からできる・できないの回答すらない。吸い上げた部署でも人事異動があると回答が変わってしまう事もあるので、課としてしっかり引き継いでほしい。それから ALT について、できれば 1 校に 1 人配置して生徒に寄り添ってもらえればよい。</p>
事務局	<p>学校現場に限らず市としてきちんとやらなければならないこと。市全体としてしっかりやっていきたい。ALT の配置についても、中長期的に政策として考えていきたい。</p>
	<p>第二次佐久市総合計画後期基本計画の骨子案《高校教育・高等教育》について説明</p>
委員	<p>県立高校の再編は、野沢北と野沢南の合併問題という事を出ている。市もよりよい新しい高校を作ってほしいと現実問題として捉えている。県内外からも生徒を集められるよい高校を作ってほしい。市としても岩村田と新校しか普通科はない。市も積極的に関与してほしい。</p>

事務局	よりよい高校をとというのは我々も同じ意見。まちづくりにおいても非常に重要なパーツだと認識している。市がやれることは限定的ではあるが、市民と同じ方向を向いてやっていきたい。
委員	P8の現状と課題1つ目について、小中学校と高校の連携だけではなく、高校と大学の連携も入れてほしい。
事務局	市は高校と大学については促進していく立場なので、前向きな検討をしたい。
委員	佐久市が奨学金を支給している。例えば、佐久大学に行く人や将来的に市に戻る人は返還不要にしたらどうか。
事務局	奨学金の利用者は減少している。国や支援機構で給付型が手厚くなっている関係もある。色々な制度が出来た事で一般的な奨学金の利用者が少なくなっている。市が見るべきニーズはどこなのかをしっかりと見極めていきたい。
	第二次佐久市総合計画後期基本計画の骨子案《青少年健全育成》について説明
委員	青少年はどこからどこまでをいうのか。地区の行事への参加はほとんどが小学生で、中学生になるとあまり参加しない。線引きはどこなのか。
事務局	一般的には小学生から成人するまでの学校現場以外での教育を指している。
	第二次佐久市総合計画後期基本計画の骨子案《文化・芸術》について説明
委員	体育館の横に文化財事務所があるが、市民に知られていない。すばらしい文化財が展示されているので、整備するだけでなく周知するようにしてほしい。中込学校の横に簡単な建物を作るなど見学できる場所を設置して、陽をあててほしい。それからキッズサーキット

	トは素晴らしい取組みだと思う。もっと佐久市の文化・芸術をアピールしてほしい。
委員	文化財事務所へ行ったことがあるが、色々散在している印象。フェスティバルのようなイベントで、文化・芸術系のものが集まる機会があればよいと思う。また他の市で行なわれている音楽会が佐久市は少ない。昔佐久市はジャズで栄えていたらしいが、もっと明るく大人が楽しめる音楽会があればよい。
事務局	まずは発信方法をしっかりしていかなければいけない。イベントは客席数と費用対効果を考えるとなかなか難しいが、できるだけ市民が身近に文化・芸術を感じられるように文化事業団と連携しながらやっていきたい。
副部会長	望月長野西高のサテライト校へ行く機会があった。生徒数は結構いるが、普段通う生徒は10～20人くらい。意見交換もしたが、生徒からは意見が出ず、要望をするしかできなかった。望月の文化財があるが開放していない。管理維持していくのは大変。中仙道は過疎が進んでいて困っている。
事務局	第二次佐久市総合計画後期基本計画の骨子案《生涯学習》について説明
委員	他の市では防災についての学習拠点にしたり、差別問題などを取り上げている。地域福祉の関係も松本市はかなり熱心に取り組んでいる。地域の課題やテーマを取り入れて、生涯学習をやってほしい。
事務局	しっかり意見として伝えたい。
委員	生涯学習はお年寄対象のイメージがあるが、そもそも子どもの頃から一生学び通すという事なので、子ども達や先生も参加してもよいと思うが、そういった活動が活発にならないのはなぜか。そういう点にも目を向けてほしい。
委員	《高校教育・高等教育》にリカレントが記載されているが、生涯学習にも関係があると思う。働いている人の夜の講座を市として方

	針を出してもらえれば、大学も協力できる。
事務局	第二次佐久市総合計画後期基本計画の骨子案《スポーツ》について説明
委員	元気な子ども達はスポーツ少年団に入っている。スポーツ少年団の監督やコーチは任意でやっているの、市として連携をとってバックアップして欲しい。
事務局	小中合わせて子どもが早い時期にスポーツに触れられる環境整備をしっかりと進めていきたい。
副部会長	望月小は合併してからは、スクールバスが来るので放課後のクラブ活動ができない。年に4回はクラブ活動があるが、大したことはできない。スポーツもなかなかできない状況。
委員	教員の働き方改革も考慮すると地域で活動していくべきではないか。
委員	臼田のテニスコートはだいぶ改善されたが、国道から遠くてアクセスが悪い。テニスは佐久市では大会が開催されない。野球場はなんとか高校の大会が開催されている。運動公園の側にテニスコートが整備されれば、誘客も含めてよいのではないか。高校生くらいのスポーツは見応えがあるし、スポーツ振興も含めて施設の充実を考えてほしい。昔の球場だった佐久市営グラウンドも整備すれば活用できるのではないか。
事務局	公共施設マネジメントの観点では、人口が減少する中、全ての施設を維持管理していくのは難しい。本当に必要な所にはしっかり集めて全体の最適化を図りたい。
	第二次佐久市総合計画後期基本計画の骨子案《人権尊重社会》について説明
委員	歴史的に見れば部落差別による同和教育がベースになっているが、時代は変わってきて色々なじめや差別がある。間口を広げて

	<p>変えて取組む必要があるのではないか。</p>
事務局	<p>人権という部分で書き方が弱いのではないかという意味か。</p>
委員	<p>全体的なテーマになってきているので、もう少し厚い記載をしてほしい。</p>
委員	<p>同和教育だけでは今の時代ダメではないか。</p>
事務局	<p>同和教育がまずありきのような形に見えてしまうので、構成を確認したい。</p>
部会長	<p>文章的に全体を見直して頂きたい。</p>
事務局	<p>第二次佐久市総合計画後期基本計画の骨子案《男女共同参画社会》について説明</p>
委員	<p>区長会があると思うが女性の比率はどのくらいか。240区あって3人か4人、やっと女性区長が出てきた。そういう所から女性がもっと表に出てくるようになればよい。</p>
事務局	<p>市長も公約で女性の登用を掲げていたが、まずは審議会の女性委員の登用率を長野県で1番にしようとしている。来年度には女性大学の企画も始まっている。</p>
委員	<p>とてもよいことだと思う。女性の活躍する佐久市くらいのつもりでやってほしい。男性側の問題もあると思うが。女性が活躍しやすいように地区の根本的な空気を変えていくことが大事。</p>
事務局	<p>色々なアドバイスを頂きたい。</p>
委員	<p>3人も女性が区長になった。以前は1人しかいなかった。増えたという事は区長のそれぞれの意識が変わってきた。私もお願いしたことがあるが、女性側にも消極的な意識がある。根本を変えないとダメ。そんなに早急にやろうとしてもできることではない。</p>

部会長	パートナーシップ佐久でもどんな方法がよいかと検討しながら話を進めている。男性の意識も変わっていった方がよいのではないかという意見も出ている。
副部会長	若い女性は今色々な活動をしているが、若い男性はあまり活動していない。
部会長	皆さんの協力を頂きながら、しっかり前向きに男女共同参画に取り組んでほしい。

(3) その他

質疑、意見

部会長	その他について、事務局から何かあるか。
事務局	次回の開催は、11月5日（金）14時00分からの予定。

3 閉会